

選択：病理

．目的と特徴

本プログラムは、病理標本の作成方法を理解した上で、生検、外科材料の取り扱い、組織標本の見方、診断までの過程について理解を深める。

．指導医リスト

研修指導責任者： 笹野公伸（東北大学病院）

指導医： 渡辺みか（東北大学病院）

藤島史喜（東北大学病院）

．研修内容と到達目標

1．研修内容

- (1) 指導医とともに病理診断当番・術中迅速病理診断当番を受け持つ
(週2～3回)
- (2) 指導医のもと、切り出し当番を受け持つ(週1回程度)
- (3) 指導医とともに病理解剖当番を受け持つ(週1回程度)
- (4) 病理総検査・剖検カンファレンスに参加する(毎週1回)
- (5) 外科系執刀医との切り出し会に参加する(週3～4回)
- (6) 各診療科との定期カンファレンスに参加(月数回程度)

2．到達目標

- (1) 病理解剖の役割を理解し、肉眼所見の説明と臨床病理相関ができる
(目標：5例)
- (2) 主要疾患における外科材料の切り出し方法を理解する(目標：30例)
- (3) 病理組織診断の結果について、その内容を理解する(目標：100例)
- (4) 術中迅速診断の重要性を理解する(目標：10例)
- (5) 部内または診療科とのカンファレンスで簡単な症例提示ができる
(目標：3例)

．週間スケジュール

毎週月曜日 午前中 総検査剖検会

毎週火曜日 午前中 ミーティング

毎週水曜日 午前中 症例カンファレンス

毎日 午後 診断下見・指導医による検閲・切り出し

診療科とのカンファレンスは早朝または夕方のため適宜参加